

高校1年生「地球学(人間と社会)グループワーク」SDGs新聞製作

「人間と社会」SDGs新聞

地球規模の課題の発見

研究テーマの設定

持続的な開発目標の立案

新聞製作

研究のテーマとSDGsの開発目標とをつなげ、持続可能な未来を考える。

<p>1班 石油消費とラップ</p>	<p>2班 パーム油と森林破壊</p>	<p>1班 コーヒー飲めなくなるよ</p>	<p>2班 食品ロス撲滅</p>
<p>3班 農業の工業化と諸問題</p>	<p>4班 電子化すると紙は減るのか？</p>	<p>3班 地球とあなたの命を縮めるたばこ</p>	<p>4班 長く使わないとエコバッグじゃない</p>
<p>5班 植物油脂って結局何？</p>	<p>6班 古着の可能性</p>	<p>5班 節電を身近に</p>	<p>6班 温暖化魚が食べられなくなる</p>
<p>7班 減らせプラスチックごみ！</p>	<p>8班 電子化の効率的な運用で競争力強化を</p>	<p>7班 ゴミ問題と生き物</p>	<p>8班 ストローに飲み込まれた世界</p>
<p>9班 地域・日本・国際社会にどう貢献していくのか</p> <p>→調査・研究を行い、持続的な開発目標を立案する</p> <p>まとめとして、新聞社の協力の下、新聞紙面を編集する</p>			

高校1年生「地球学(人間と社会)グループワーク」SDGs新聞製作

20班

コロナと布マスクの開発

2020年は、新型コロナウイルスの感染拡大で新たな生活様式が求められ、ごみ問題がより深刻になった。コロナ禍で増えたごみの一つはマスクである。この問題を解決するために、使い捨てでない布マスクを普及させればいいのかと考え、マスクの種別使用率とその理由についてアンケートをとってみた。

布マスクと使い捨ての不織布マスクに分けて聞いたところ、使用率はほぼ半々だった。布マスクは洗って使い回せるから、不織布マスクは清潔感があって手間がかからないからとの回答がそれぞれ一番多かった。

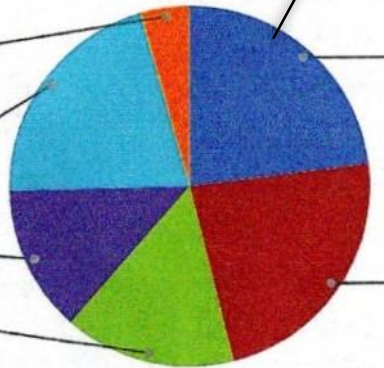
両方のこうした長所を備えたマスクを開発することができれば、マスクごみを減らすことができると考えた。また、コロナ禍をきっかけに、私たち一人ひとりもごみに対する意識を変えていくべきだと思う。

見出し文

画像素材

紙マスクを使う理由

- 無効 4.4%
- その他 20.9%
- 飛沫抑制 13.2%
- 安い 15.4%



清潔 23.1%

楽 23.1%



班ごとに決定した研究テーマについて、見出し文、研究の要旨、写真、持続的な開発目標を立案し、記事を執筆します。

出来上がった新聞は生徒全員に配布され、自身が研究した内容を仲間や家族などと共有します。

SDGsターゲット

研究要旨 400~500字程度

班員の氏名